

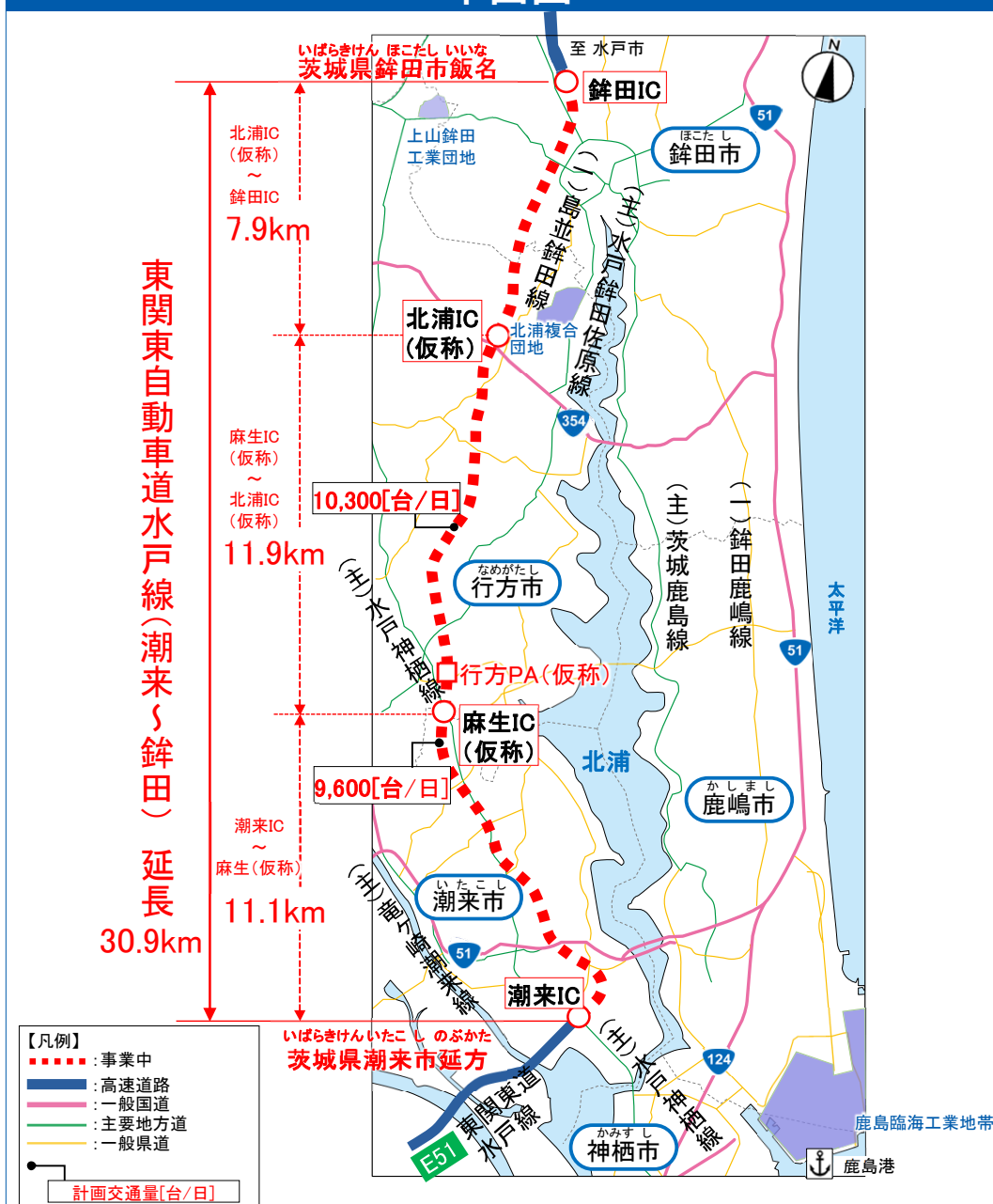
- このうち、東関道水戸線（潮来～鉾田）事業は、未開通区間である潮来IC～鉾田ICの延長30.9kmについて、整備を進めております。

01 東関道水戸線 (潮来～鉾田)の概要

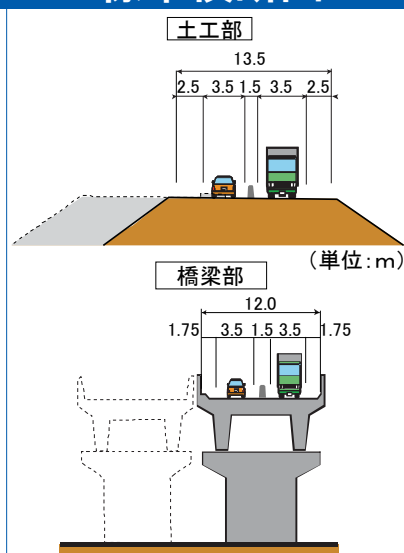
2 東関道水戸線（潮来～鉾田）の概要

- 東関道水戸線（潮来～鉾田）のインターチェンジ（以下、「IC」）は、既存の潮来ICと鉾田ICとの間に、麻生IC(仮称)と北浦IC(仮称)を整備します。
- 麻生IC(仮称)から北側2.5kmの位置に、行方パーキングエリア（仮称）（以下、「行方PA」）を整備します。
- 計画交通量は、約1万台/日であり、暫定2車線で整備を進めています。（IC周辺は、一部4車線で整備）

平面図



標準横断図



事業の目的

- ・ 高速ネットワークの形成
- ・ 国際バルク戦略港湾等や空港へのアクセス向上
- ・ 災害時の予備ネットワークの確保

計画の概要

- ・ **事業区間:** 自)茨城県潮来市延方 至)茨城県鉾田市飯名
- ・ **計画延長:** 30.9 [km]
- ・ **幅員:** 13.5 [m]
- ・ **車線数:** 暫定2車線 (完成4車線)
- ・ **計画交通量:** 9,600 [台/日] ~ 10,300 [台/日]
- ・ **事業化:** 平成21年度
- ・ **事業費:** 約1,760 [億円]

02 東関道水戸線

(潮来～鉾田)の整備効果

1 高速ネットワークの形成

- 東関道水戸線（潮来～鉾田）の開通により、北関東道や首都圏中央連絡自動車道（以下、「圏央道」）等と連携し、首都圏・北関東・東関東を結ぶ広域的な高速道路ネットワークが形成されます。
- 高速道路ネットワークの形成により、
 1. 港湾や空港の拠点アクセス向上
 2. 災害時の代替路の確保
 3. 地域振興の支援、地域経済の活性化等が、期待されます。

高速ネットワークの全体図



02 東関道水戸線

(潮来～鉾田)の整備効果

2 交通拠点へのアクセス向上

- 東関道水戸線（潮来～鉾田）の整備により、茨城空港へのアクセスが向上し、さらなる需要拡大が期待されます。
- 鹿島港、茨城港といった県内の主要な港湾へのアクセスが向上し、輸送や利便性の向上が期待されます。

拠点へのアクセスのイメージ



02 東関道水戸線

(潮来～鉾田)の整備効果

3 災害時の代替路確保

- 東関道水戸線（潮来～鉾田）の整備により、常磐道が通行止めになった場合でも、高速ネットワークの代替路が形成され、災害時の物資輸送などを支援する緊急輸送道路として期待されます。

災害時の予備ネットワークの全体図



02 東関東水戸線

(潮来～鉾田)の整備効果

4 地域の農林水産業の支援

- 鹿行地域には、豊富な農作物や水産物があり、ブランド力の強化や付加価値の向上など、地域の発展や活性化に向けた取り組みを行っています。
- 東関東水戸線（潮来～鉾田）の開通により、迅速かつ安定的な輸送が確保され、地域の産業の持続的成長・活性化に寄与することが期待されます。

鹿行地域の主な名産



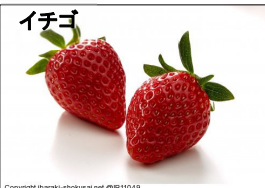
鹿行地域の主な名産品

メロン



Copyright Ibaraki-shokusan.net ©2010383

イチゴ



Copyright Ibaraki-shokusan.net ©2011049

甘藷(さつまいも)



Copyright Ibaraki-shokusan.net ©2011044

レンコン



Copyright Ibaraki-shokusan.net ©2011044

ピーマン



Copyright Ibaraki-shokusan.net ©2011009

水菜



Copyright Ibaraki-shokusan.net ©2011041

チンゲンサイ



Copyright Ibaraki-shokusan.net ©2011009

トマト



Copyright Ibaraki-shokusan.net ©2011041

テナガエビ



02 東関道水戸線 (潮来～鉾田)の整備効果

5 地域の観光振興の支援

- 茨城県は都心からのアクセスが良く、海や山などの自然豊かな環境に恵まれ、多くの観光スポットがあります。
- 東関東水戸線（潮来～鉾田）の整備により、鹿行地域へのアクセスが向上し、周辺地域の観光スポットとの周遊が可能となり、観光産業の活性化に寄与することが期待されます。

周辺の主な観光施設



図出典:令和3年度東関東水道水戸線(潮来-銚田) 事業評価監視委員会 説明資料
写真出典:国営ひたち海浜公園・偕楽園・鹿島神宮・大洗マリナーズ・いこいの沼沼沼・フワフワパーク・牛久大仏・カシマサッポータスタジアム(いばらきフォトライブラリ https://www.ibarakiguide.jp/photo_library.php)・
アクアワールド大洗・道の駅(たけのこ)・茨城県立近代美術館・大洗フクク科学館・牛久シャトー・あみプレミアムアウトレット(観光いなかきHP <https://www.ibarakiguide.jp/>)・水郷潮来あやめ園(行方市からの提供写真)

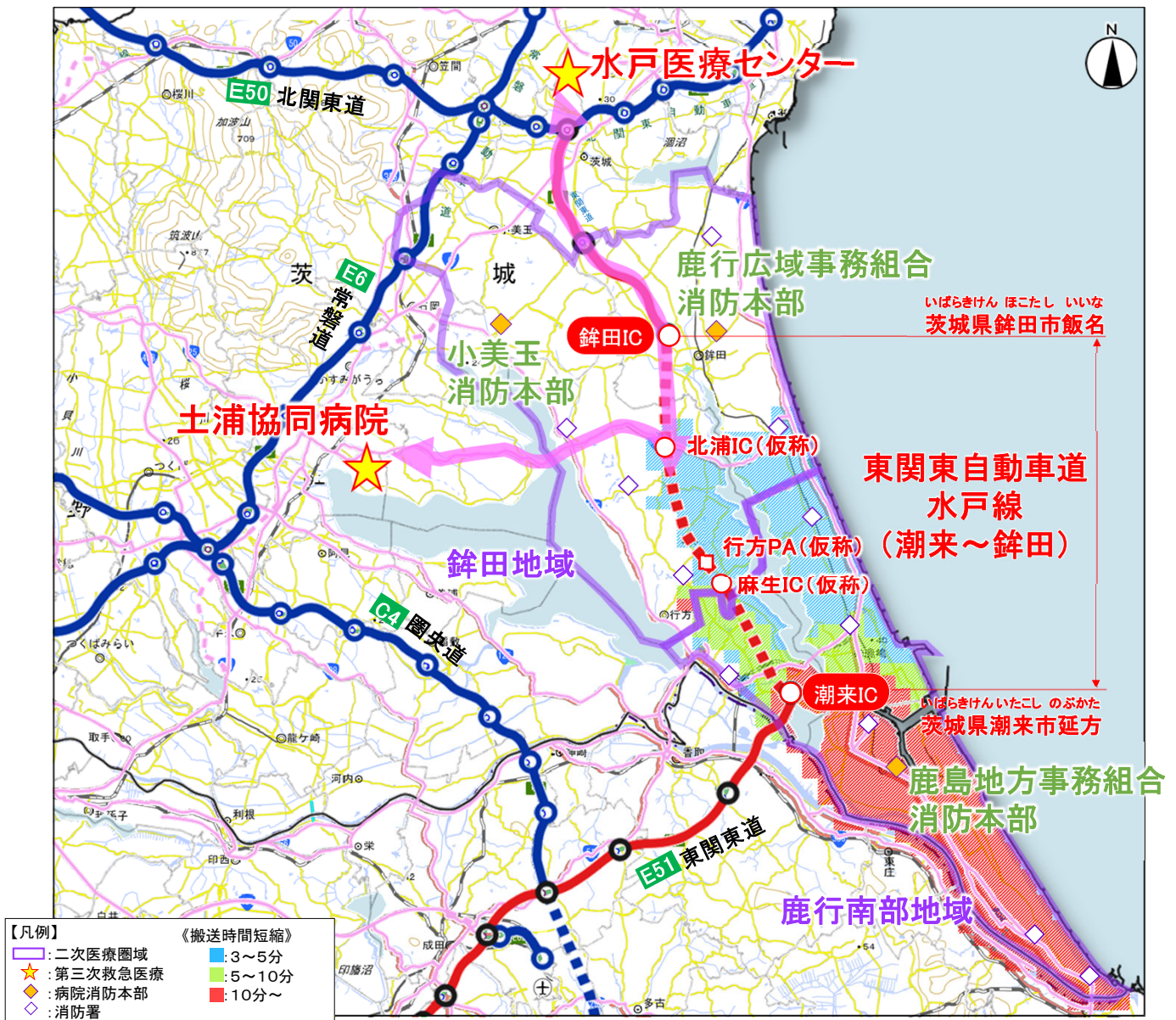
6

- 東関道水戸線（潮来～鉾田）の開通により、鹿行地域において、水戸医療センターや土浦協同病院といった第3次医療施設※への搬送時間の短縮が期待されます。

- とくに、鹿嶋市や神栖市周辺では10分以上の時間短縮が期待されます。

※第3次救急医療病院:救命救急センターを設置し、24時間体制で複数の診療科領域に渡る重篤救急患者を受け入れる医療施設

救急搬送時間が短縮されるエリア



03 東関道水戸線

(潮来～鉾田)の進捗状況

1 東関道水戸線（潮来～鉾田）の進捗状況

- 現在、東関道水戸線（潮来～鉾田）において、橋梁工事や改良工事を行っています。
- 重機工事は、低騒音・低振動機械を採用するとともに、一般道との出入部には交通誘導員を配置し、安全確保を行います。

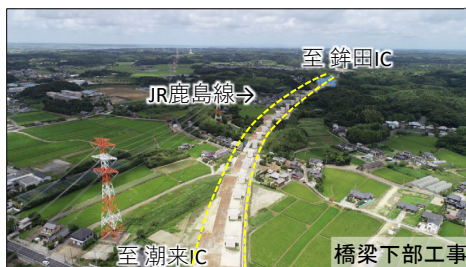
事業の進捗状況



①潮来市延方西地区

②潮来市小泉地区

③潮来市茂木地区
潮11函渠



④潮来市清水地区
麻生IC(仮称)周辺

⑤行方市青沼地区
行方PA(仮称)設置箇所

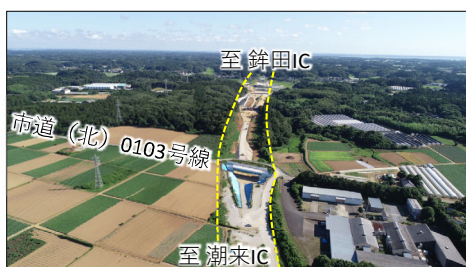
⑥行方市北高岡地区



⑦行方市両宿地区
北浦IC(仮称)周辺

⑧行方市長野江地区

⑨鉾田市塔ヶ崎地区



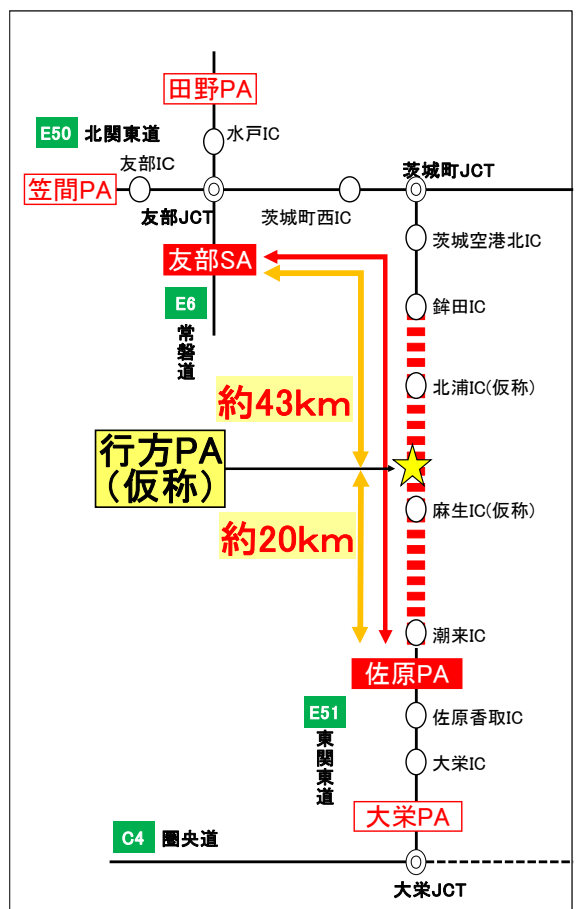
【凡例】
: 整備箇所

04 行方PA(仮称)の概要

1 行方PA(仮称)の必要性

- 東関東道水戸線（潮来～銚田）近隣の休憩施設（SA,PA）の距離間隔は約63km（「佐原PA」から「友部SA」間）となります。
- 東関東道水戸線（潮来～銚田）間に、PAを設置することにより、ドライバーの疲労緩和や道路利用者のサービス向上を図ります。

休憩施設間の距離



【休憩施設間距離】	
佐原PA～友部SA	約63 [km]
佐原PA～笠間PA	約71 [km]
佐原PA～田野PA	約73 [km]

04 行方PA(仮称)の概要

2 行方PA(仮称)の設置位置

- 東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）に設置するPAは、沿線自治体が連携した地域振興施設を併設し、農産物等の地域資源が有効活用し、地域振興がより一層促進される拠点となるような設置位置を検討しました。
- PAの設置箇所は、ICとの離隔など安全性の観点、地質の状況など整備コストの観点、防災機能の観点等から検討し、また、併設する地域振興施設には、市域とのアクセスに重要な幹線道路に接している事などを検討しました。

行方PA(仮称)の設置位置



東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)事業連絡調整会議

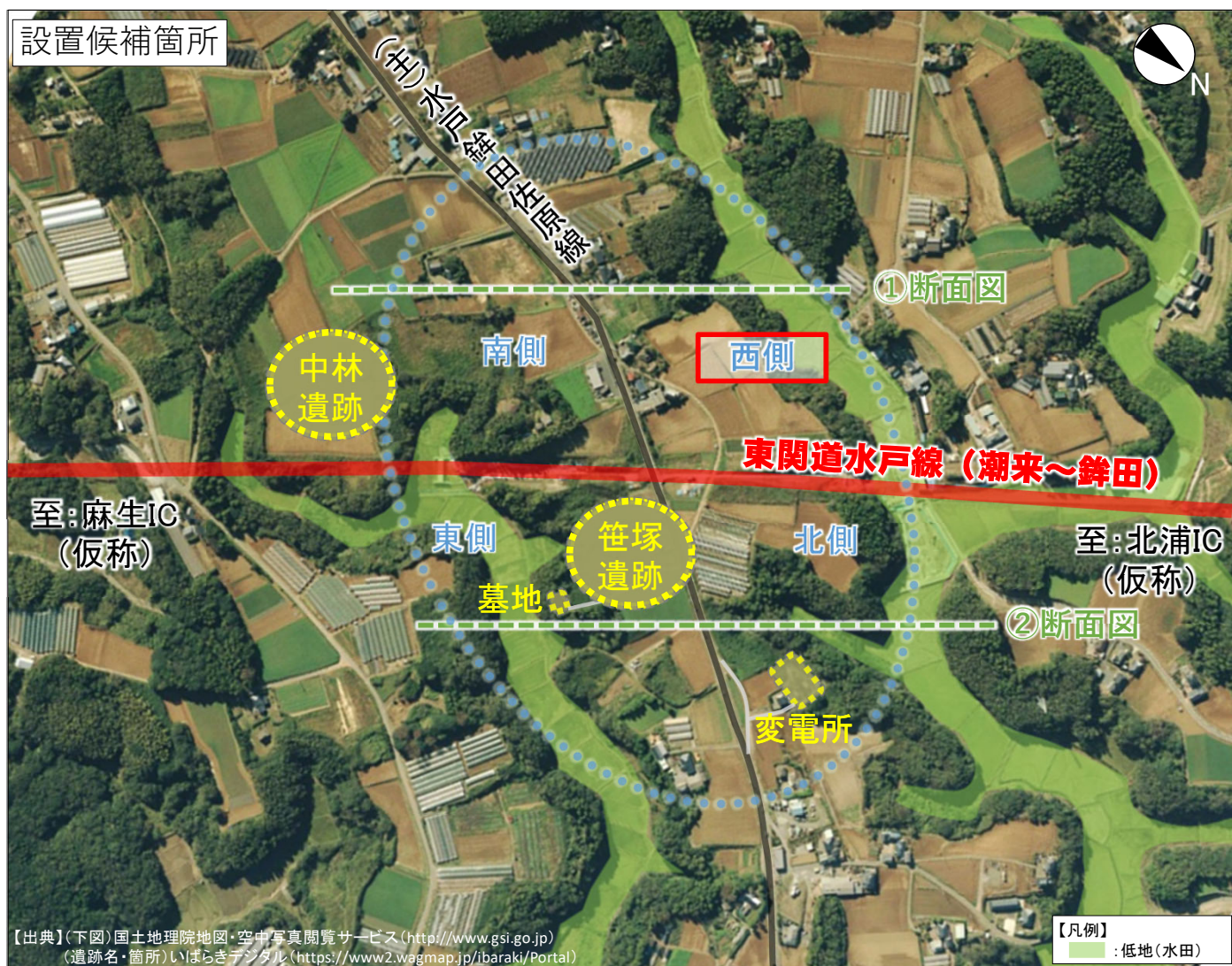
会議名	時期	協議内容
第1回	令和元年12月23日	休憩施設の必要性を確認(地域振興施設併設型を基本に検討)
第2回	令和2年8月28日	行方市域に設置を確認(麻生IC(仮称)～北浦IC(仮称)間)
第3回	令和2年12月24日	候補箇所を2箇所に絞り込み
第4回	令和3年9月16日	行方PA(仮称)の設置位置を行方市青沼地先とすることを確認

04 行方PA(仮称)の概要

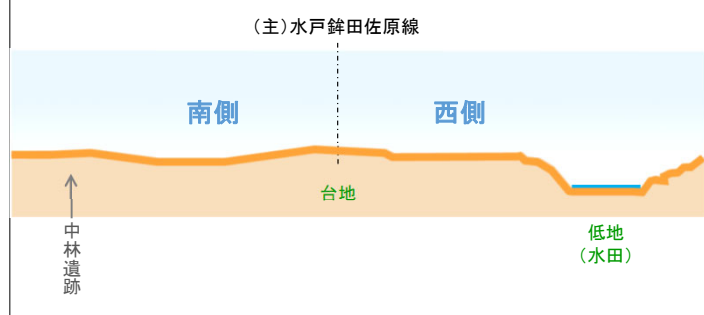
3 行方PA(仮称)の周辺状況

- 令和4年度に測量・地質調査を行った結果、谷地形や支障物件・遺跡を避け、(東関道水戸線と(主)水戸鉾田佐原線の交差箇所の西側へ設置することに決定しました。

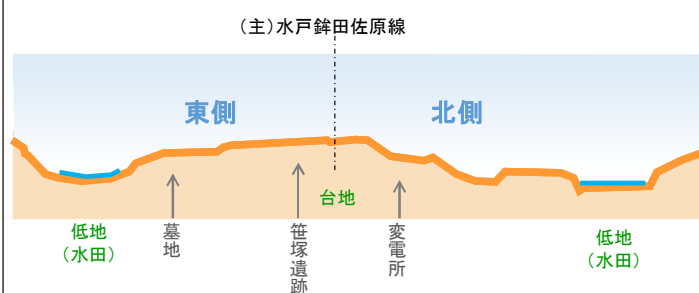
行方PA(仮称)の周辺状況



①断面図



②断面図



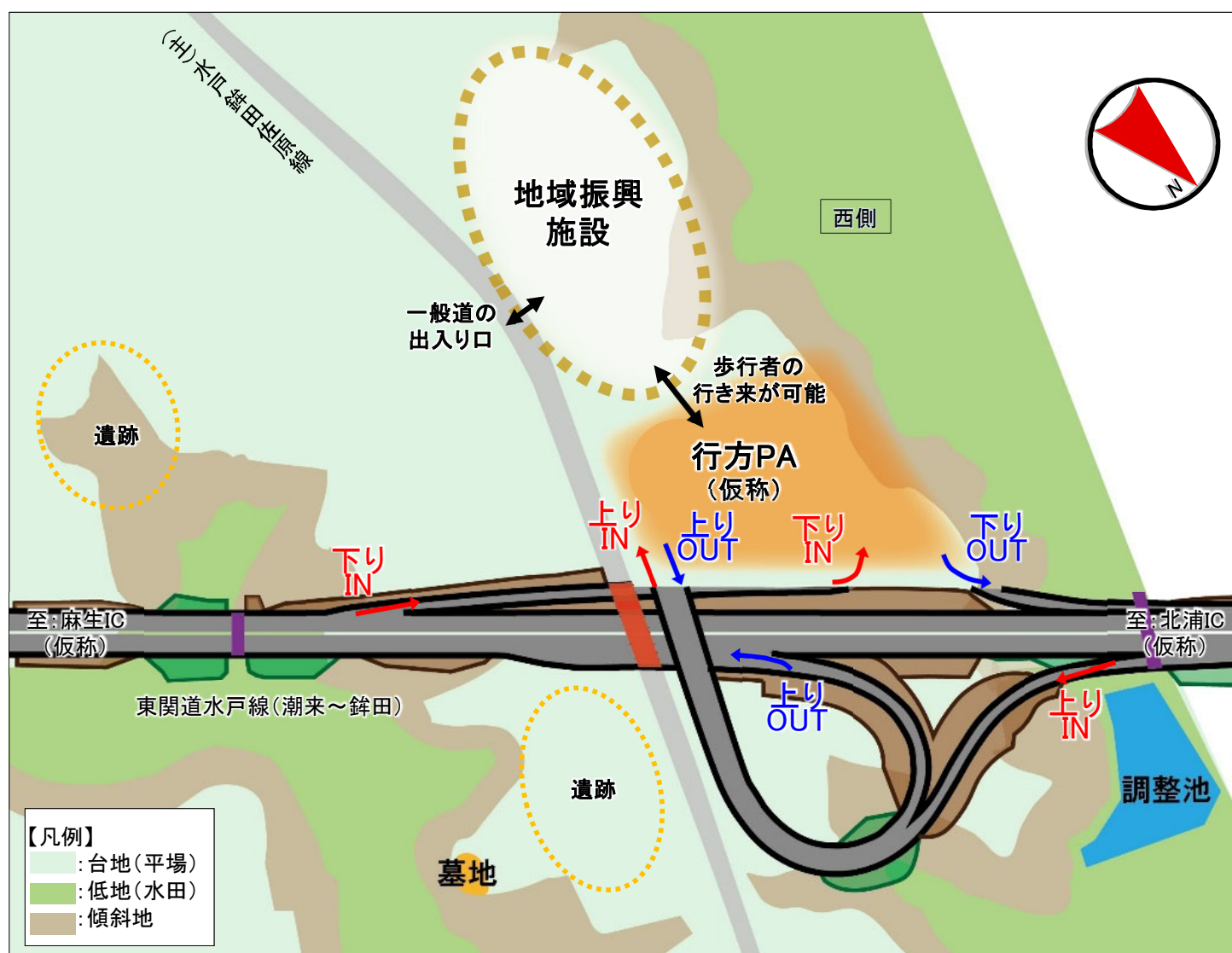
04 行方PA(仮称)の概要

4 行方PA(仮称)の設置イメージ

- 行方PA(仮称)は、併設する地域振興施設へのアクセスを考慮し、上下線の片側集約型としました。
- 行方PA(仮称)には地域振興施設を併設する予定です。
- 地域振興施設へは、一般道(県道水戸鉾田佐原線)からアクセス可能です。また、高速道路利用者は、行方PA(仮称)に駐車し、徒歩でアクセスすることが可能です。

※地域振興施設から東関東水戸線への車両の出入りはできません。

行方PA(仮称)の設置イメージ



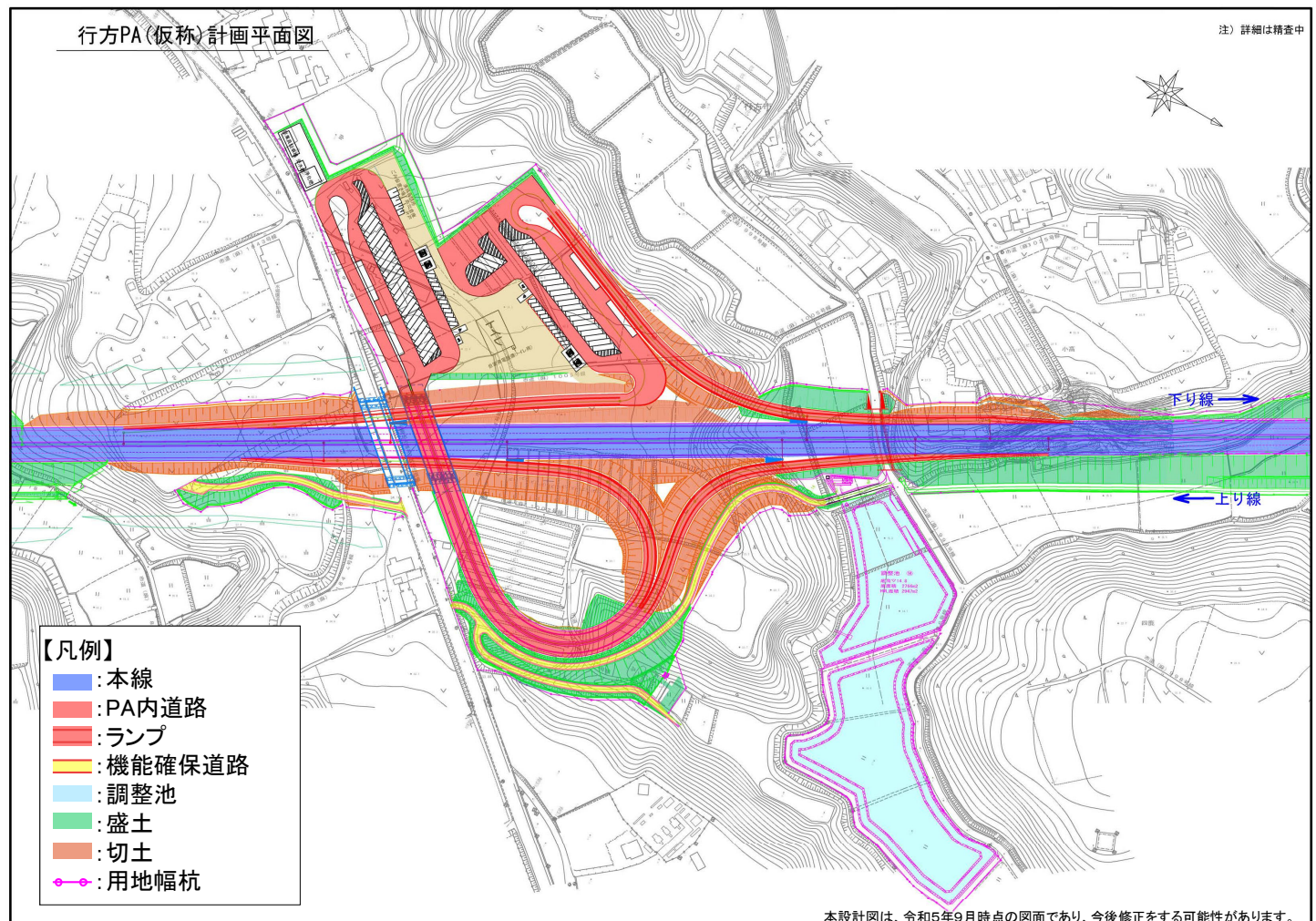
※遺跡箇所については『いばらきデジタルまっぷ』(<https://www2.wagmap.jp/ibaraki/Portal>)を参照

04 行方PA(仮称)の概要

5 行方PA(仮称)の具体計画

- 行方PA(仮称)は、東関道水戸線(潮来～鉾田)間の予測交通量から必要な駐車台数を確保した駐車場を整備する予定です。
- そのほか、PAに必要な、トイレを整備する予定です。
 - ・ 上り線駐車場 37台
(乗用車12台、大型車25台)
 - ・ 下り線駐車場 37台
(乗用車12台、大型車25台)

行方PA(仮称)の計画図(案)

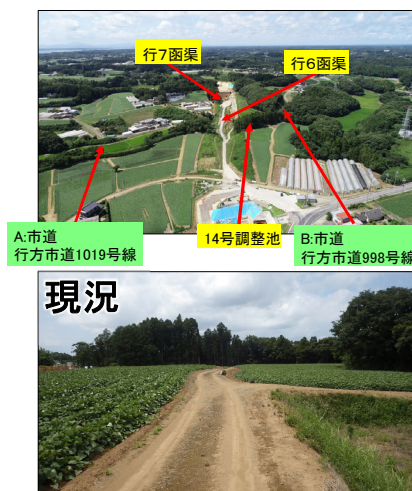
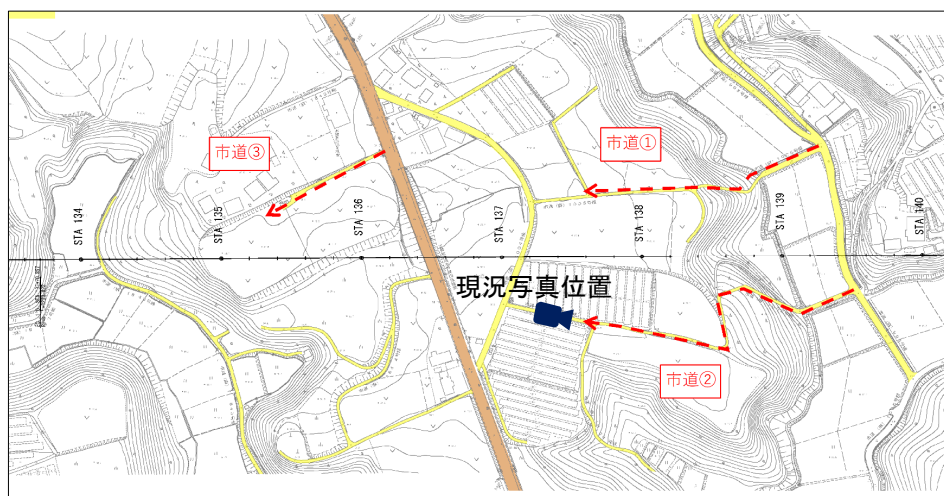


04 行方PA(仮称)の概要

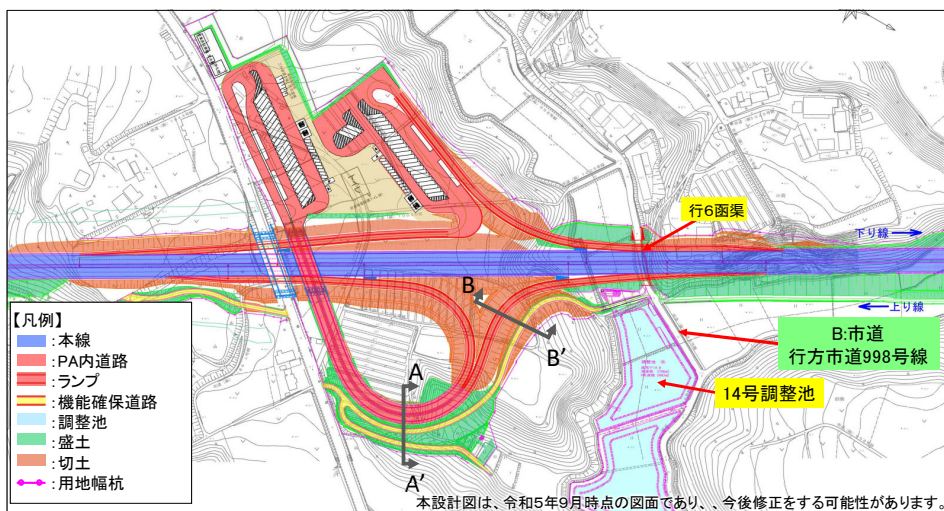
6 現況の道路の機能確保

- 行方PA(仮称)の整備に伴い、周辺の市道について付け替え、集約を行う予定です。
- 市道の付け替えにより、県道水戸鉾田佐原線への出入り等の機能は確保されます。

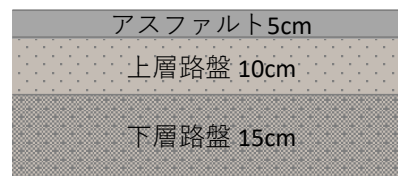
現況の道路の状況



将来の道路の状況



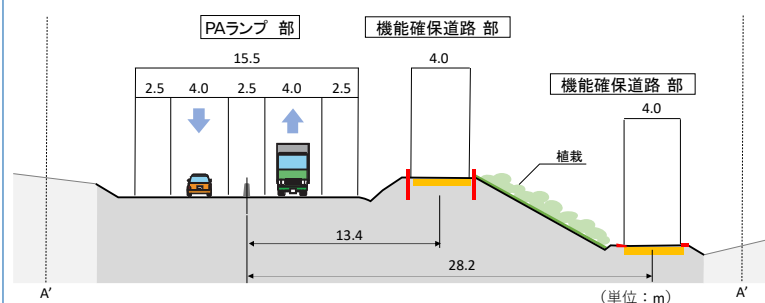
アスファルト舗装構成
勾配12%以下の区間



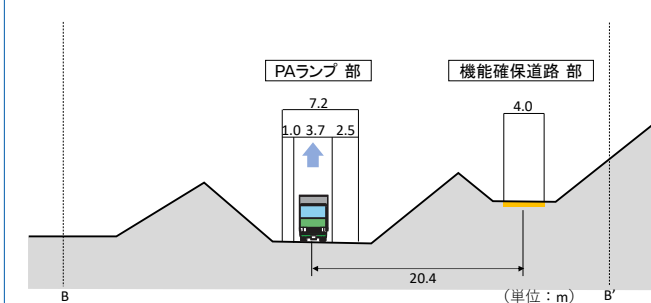
コンクリート舗装構成
勾配12%を超える区間



横断のイメージ (AA'断面)



横断のイメージ (BB'断面)





04 行方PA(仮称)の概要

7 地域振興施設のイメージ

- 行方PA(仮称)に併設する地域振興施設には、地域振興がより促進され、地域の拠点となるような施設を予定しています。
- 今後、行方市において、行方市地域振興施設整備推進協議会(仮称)を設立し、基本構想等を策定する予定です。

施設のイメージ

地産品の販売施設のイメージ



JA楽郷



道の駅いたこ

フードコートのイメージ



空のえきそ・ら・ら

防災倉庫のイメージ

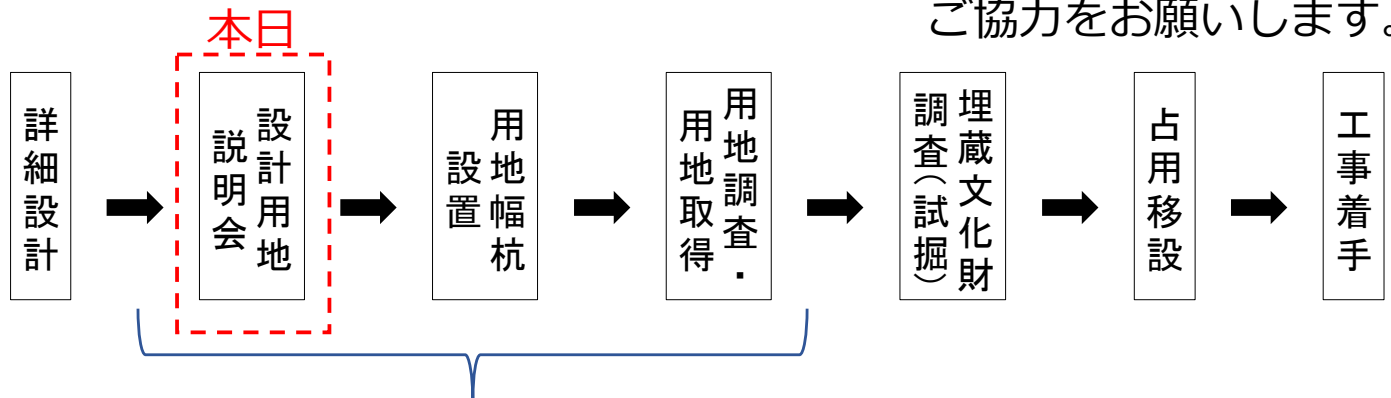




05 用地取得の手続き

1 用地取得のスケジュール

- 工事着手までの流れは下記により進めて参ります。
- 用地調査における所有地の立ち入りや境界立ち会いの際は、ご協力をお願いします。



用地買収の手続き詳細

1. 事業計画などの説明



2. 用地幅杭の打設



3. 土地や建物などの調査



4. 土地調書・ 物件調書の確認



5. 補償の説明



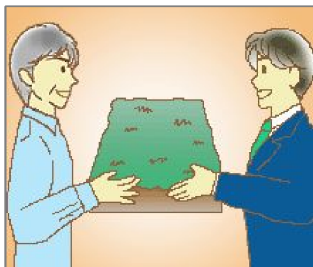
6. 契約



7. 補償金の支払い (前金払い)



8. 建物などの移転 ・土地の引渡し



9. 補償金の支払い (残金払い・一括払い)





06よくある質問

Q1 行方PA（仮称）にはどのような施設ができるのか？

- A1
- 行方PA（仮称）は、駐車場、トイレ等を設置する予定です。
 - また、地域振興施設が、行方PA（仮称）に併設される予定であり、行方PA（仮称）に駐車し、徒歩でアクセスすることが可能です。
 - なお、地域振興施設は、今年度、行方市において基本構想の策定、「（仮称）行方市地域振興施設整備推進協議会」の設立を行う予定です。

Q2 行方PA（仮称）から一般道に乗り降りできるのか？

- A2
- 現時点では、行方PA（仮称）から一般道への車両の出入りはできない計画となっています。

Q3 行方PA（仮称）に高速バスの停留所はできるのか？

- A3
- 高速バス停留所については、バス事業者から設置要望があった場合に、関係機関と協議してまいります。

Q4 用地幅杭打設や用地調査の際は立ち会いが必要なのか？

- A4
- 用地幅杭打設の際は、土地の立ち入りに了解いただければ、立ち会っていただく必要はありません。
 - 用地測量・調査の際は、地権者の方に現地で立ち会っていただくようお願いしておりますので、ご協力をお願いいたします。

Q5 用地取得に協力した場合、税法上の特例はあるのか？

- A5
- 当所が税務署と事前協議し税務署が承認した場合は、租税特別措置法上の特例措置が受けられます。
 - ただし、場合によって、特例措置が受けられないケースもありますので、詳細については個別にご説明いたします。

Q6 用地買収について、具体的な時期が知りたい。

- A6
- 現時点では、用地買収の具体的な時期は未定ですが、境界立ち会い後、道路に必要な土地の面積や、建物、立木等、補償に関する詳細な調査をさせて頂き、ご相談していきたいと考えています。